高等学校 令和７年度（１学年用）年間授業計画　教科：地理歴史　科目：地理総合

教科：地歴　　科目：地理総合　　単位数：２単位

対象学年組：第 １ 学年　　１組～７組

使用教科書：『新地理総合』・『新詳高等地図』帝国書院　　使用副教材：『新詳地理資料』帝国書院

教科の目標：　地歴科

【 知 識 及 び 技 能 】身の回りの社会的事象に関する基本的な知識や技能を習得し、地理歴史的な見方・考え方を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】資料や、統計・地図などの諸資料を活用し、必要な情報を収集・判断し、自らの考えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】世界や日本の地理的事象、現代社会の諸事象を考察し、現代の諸課題を主体的に探究・解決しようとする。

科目の評価規準：　地理総合

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の特色と諸課題について、グローバルな視座から生活文化の多様性と国際理解、国際協力の在り方や地球的諸課題への対応を理解する。また、持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的諸課題を考察する。	地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得し、諸課題を多角的に考察し自ら判断できる力を身につける。そのために、グラフや図、統計資料などから現代社会の地理的諸課題やその対応を読み解くことができる力をつける。また考察したことについて、表現する文章力やプレゼンテーション力を養う。	よりよい国際社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うよう、授業で積極的な発言をおこなう。我が国の文化・歴史に対する敬意、生活文化の多様性と国際協力の重要性を認識し、他国や他国の文化・歴史を尊重する態度を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	地上の現象や地球上の位置、時差のしくみについて、地域性や日常生活との関連を踏まえて、多角的・多面的に考察する。 【知識・技能】 緯度と経度の基本的なしくみを学習する。経度の違いと時差のしくみを理解する。世界地図のひずみについて考察する。 【思考・判断・表現】 地上の現象や地球上の位置に関する諸資料や時差の原理、世界地図の種類や特徴を理解し、有用な情報を選択できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地上の現象や時差のしくみ、さまざまな図法について関心と課題意識を深め、それを意欲的に追求し、積極的に知ろうとする。	●地球上の位置と時差 ・地球に関する基本事項 ・緯度と経度 ・緯度の違いとその影響 ・時差のしくみ ・時差の計算と私たちの生活 ・地軸の傾きと私たちの生活 ●地球儀と地図 ・球体の地球と平面の地図 ・さまざまな図法 ※地理情報システム（ＧＩＳ）の活用	【知識・技能】 地球上での位置や緯度・経度の概念、時差のしくみと応用、世界地図の特徴についての基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 地上の現象や時差を意識した生活、様々な世界地図の有用な情報を選択して、考察・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地上の現象や時差、世界地図についての関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し捉えようとしている。	○	○	○	12
	１学期中間考査			○	○		1
	人間生活を取り巻く環境（地形）の多様性ついて理解する。 【知識・技能】 人間生活の舞台となるさまざまな地形の形成過程を考察する。人々の生活に与える影響を踏まえて理解する。 【思考・判断・表現】 自然環境である地形の特徴と人々の生活に与える影響について考察し、導き出した考えを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間と自然との関わりに強い関心をもち課題意識を高めながら，それを意欲的に追求しようとする。	●世界の地形と人々の生活 ・大地形と人々の生活 ・変動帯と人々の生活 ・安定地域と人々の生活 ・河川がつくる地形と人々の生活 ・海岸の地形と人々の生活 ・氷河地形、乾燥地形、カルスト地形と人々の生活 ※地形図の利用	【知識及び技能】 さまざまな地形の形成過程および特徴の違いを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活の舞台となるさまざまな地形が、地域性を生み日常生活に違いもたらすことを踏まえて多角的に考察し適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境（地形）と人間生活との関わりに対する強い関心をもち、それを意欲的に追求しようとしている。また身近な地図の特色やＧＩＳ技術の活用場面を考察できる。	○	○	○	12
	１学期期末考査			○	○		1
２学期	人間生活を取り巻く環境（気候）について理解する。 【知識及び技能】 気候要素や気候因子が人間生活に違いをもたらし、人々の生活に大きな影響を与えることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 図やデータを活用しながら，気候の特徴と人々の生活の関わりについて考察し，導き出した考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間生活に影響を与える気候の特徴を理解した上で、自然環境と社会環境との関連を踏まえて積極的に知ろうとする。	●世界の気候と人々の生活 ・気候要素の特徴 ・熱帯の気候と人々の生活 ・乾燥帯の気候と人々の生活 ・温帯の気候と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 ※気候を生かした農業や鉱工業とのかかわり	【知識及び技能】 気候要素・因子の特徴、気候区の分布や特徴を踏まえた上で人々の生活を理解できている。自然環境に対する基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 気候に関する統計・画像等の諸資料を収集し有用な情報を選択して、人間生活の特徴や違いについてまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境に対する関心と課題意識を高め、その問題点について積極的に追求しようとしている。	○	○	○	13
	２学期中間考査			○	○		1
	人々の生活と文化、国家の領域と国境について理解する。 【知識及び技能】 世界の三大宗教をはじめとする主要な宗教の特徴や宗教と人々の生活について学習する。また言語や宗教の違いが地域固有の文化を生み出すことを学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や資料を活用し、言語や宗教が人々の生活と密接な関わりをもち、民族間の対立や紛争の主要因となっていることを考察し，自らの考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 文化の画一化に対して、地域固有の文化の特色を尊重する動きがあることを認識し、国際平和の構築を探求し、自分の課題として実現する。	●世界の言語・宗教と人々の生活文化 ・生活と宗教・言語のかかわり ・生活・文化のグローバル化 ・世界の人種問題・民族問題 ●現代世界の国家と領域 ・国家の領域と国境 ・日本の領域と領土問題	【知識及び技能】 世界の諸地域にみられる宗教・言語がそれぞれの生活や文化を育んできたことを理解し、その知識を身につけている。また、国家の成立条件を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 宗教・言語と人々の生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。国家における主権の重要性を認識し、独立国と植民地との違いを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活と宗教・言語の関わりに対する関心と課題意識を高め、国際社会において平和を構築するため、なにが必要か、どのように関わることができるのかを、自分の課題として知ろうとしている。世界の領土問題や紛争地域に関心をもち、積極的に課題解決への考えをまとめる。	○	○	○	13
	２学期期末考査			○	○		1
３学期	世界の諸地域の生活と文化について理解する。 【知識及び技能】 世界の諸地域の姿を、自然環境・社会環境の双方から多面的・多角的に考察し、その知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図・図版・資料・写真等を活用し、世界の人々の暮らしや生活に対する関心と課題意識を高め、その考えを表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の中で日本が果たす役割について探り、世界の諸地域の特色や地球的課題を意欲的に探究する。	●生活文化の多様性と国際理解 ・東南アジアの生活・文化 ・インドの生活・文化 ・イスラム圏の生活・文化 ・ヨーロッパの生活・文化 ※韓国の生活・文化	【知識及び技能】 世界の諸地域における自然環境・社会環境を理解し、その知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 地図・図版・資料・写真等を活用し、有用な情報を選択し導き出した考えを表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の中で日本が果たす役割について意欲的に追求するとともに、国際平和と地球的課題を探求する。	○	○	○	15
	学年末考査			○	○		1
						合計	70